

## 農業共済新聞 千葉版

掲載号	10 月 2 週号	
筆者	所属	農林総合研究センター
	職名及び氏名	研究員 加藤 美紀
題名	品質保持剤を利用したキンギョソウ切り花の鮮度保持技術	
備考	【表説明】 表1 品質保持剤がキンギョソウ切り花の花持ち日数に及ぼす影響 図1 品質保持剤がキンギョソウの収穫後小花開花数に及ぼす影響	

### 【本文】

キンギョソウは豊富な花色と香りがあり、消費者に人気のある花き品目のひとつです。しかし、観賞期間中に花穂の折れ、つぼみの不開花、小花のしおれ、着色不良等の品質低下を引き起こすことがあります。

そこで、観賞期間中の品質低下を防ぎ、花持ちのよいキンギョソウを消費者に届けるための品質保持剤の特性と利用法について紹介します。

#### ①STS剤（チオ硫酸銀錯塩）・・・小花のしおれ対策

キンギョソウの切り花はエチレンに対する感受性が高いため、STS剤などのエチレン作用阻害剤を利用すると小花のしおれを遅らせることができます。収穫した切り花を0.2mM STSで24時間水揚げすると、収穫後8日で小花のしおれは無処理より2～3輪少なくなり、開花を維持できます（図1）。

#### ②ショ糖を含む品質保持剤・・・つぼみの不開花・着色不良対策

STS剤は小花のしおれには効果がありますが、つぼみの開花を促進したり、着色をよくすることはできません。STS剤に5%ショ糖を加えると収穫6日後の開花数はSTS単独処理より2～4輪増加します（図1）。さらに、収穫後に開花する小花の着色がよくなります。その結果、花穂の花持ち日数が長くなります（表1）。

品種や使用条件によって、ショ糖の加用は葉に障害を出すことがあるので、0.5～1%程度で試して処理し障害の有無を確認してから、ショ糖濃度を決定することをお勧めします。

表1 品質保持剤がキンギョソウ切り花の花持ち日数に及ぼす影響

品質保持剤	花持ち日数 (日)
蒸留水	7.5
0.2mM STS	7.0
0.2mM STS+5%ショ糖	9.8

注1) 花持ち日数は収穫日から花穂の折れた日、または切り花1本当たりで観賞価値のある小花数が採花時の小花数と同数になった日までの平均日数

2) 品種「イエローバタフライ」

3) 水揚げは15℃、暗黒条件下で24時間行った  
花持ち日数の調査は23℃、相対湿度70%、12時間日長の条件下で行った

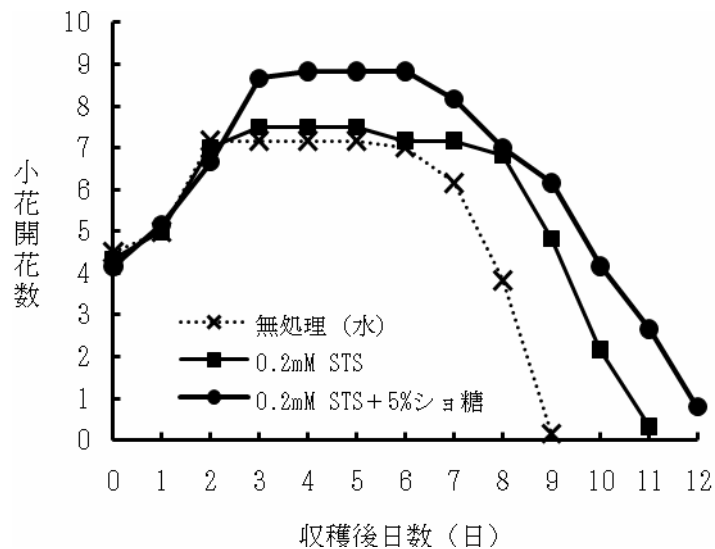


図1 品質保持剤がキンギョソウ切り花の小花開花数に及ぼす影響

注) 品種「イエローバタフライ」